

佳作

## はじめてのピアノコンクール

兵庫県 姫路市立香呂小学校二年 八藤 心音

この夏、わたしははじめてピアノのコンクールに  
ちようせんしました。それは、八月一日のひようご  
けん学生ピアノコンクールです。わたしは、まさか  
のぎんしょうをとれました。

コンクールでは、五曲の中から、『スタレガ・ラ  
プソデイ』という曲をえらびました。長くてむずか  
しい曲なので少しまよいましたが、ピアノの黒田先  
生が、わたしにあうと言ってくれたので、これにき  
めました。黒田先生から、

「もっとすごい先生のところがんばっておいで。」  
と言ってもらい、ほかの先生のところは体けんに行  
くことにしました。

六月二日、はじめて長谷川先生のところに行きま  
した。そしてコンクールの曲をひいた時、

「ぜんぜんあかん。コンクールにもうしこんだのが

もったいないくらい。」

と言われショックでした。長谷川先生は正じきにハ  
ッキリと言ってくれる、きびしくてとてもおもしろ  
くて一生けんめいな先生です。

「曲がまとまるよういっしょにがんばろう。」  
と言ってくれました。

長谷川先生のレッスンでは、今までしたことな  
いたくさんのことを教えてもらいました。かなしく  
ひくところは、じ分でかなしい歌しをつけてひいた  
りました。ほかの四さつの本もあるので、まい日  
一時間三十分ほどけんしゅうをがんばりました。

七月十五日、えらい先生がしんさをしてくれるS  
TEPにさんかしました。ひく前にとてもきんちよ  
うしてないてしまい、あまり上手にひけなかったと  
思いました。しんさいんの先生からたくさんちゅう  
いすることが書かれていて、とてもくやしかった  
です。

学校の音楽会のばんそうのオーディションもあり  
ました。あまり時間がなかったけれど、何とか一ぱ  
ん目にえらばれました。また、スイミングスクールの  
バタフライのテストもありました。今回こそごう  
かくしたいと思っていたので、ぶじごうかく出来て

本とうによかったです。

本ばんがちかづいてきて、もう少し日にちがほし  
いと思えました。うまくできずになきさけんたり、  
はらが立ったりしました。でも、あきらめずにたく  
さんけんしゅうしました。

いよいよ本ばん。思ったよりきんちようしません  
でした。でもれいをした時に、おきやくさんがいっ  
ぱいだなと思えました。あたまの中の楽ふを思い出  
して、ポイントはやさにちゅういしながら、心を  
こめて一生けんめいひきました。ひきおわり、れい  
をしてあるいている時、とても気もちがよかったです。

けっかが出る時、金しょう・ぎんしょう・どうし  
ょうとあり、わたしはどうしょうから見ました。で  
もなかったのかとごんねんに思いまし  
た。いちおうぎんしょうを見てみると、わたしのば  
んごうがのっていました。とてももうれしかっ  
たです。大へんだったけれど、コンクールにちよう  
せんしてみても本とうによかったなと思えました。